

1. 基本方針

■生涯スポーツ推進（スポーツ振興）について

人口減少、少子高齢化に伴う、急激な高齢化が課題になっています。公共体育施設における重要な役割の一部として、高齢者の健康増進による社会保障費の削減、子育て支援につながる講座や教室の開催、就労世代の運動率の向上など市民の健康増進や生活環境の向上に寄与することと考えます。

2. 施設運営方針

■公共体育施設が持つ重要な役割や使命を理解し、適切な施設管理を行ない、提供サービスの更なる品質向上と提供幅の拡大を進め、より多くの市民に來場される仕組み・雰囲気づくりを推進します。

また、お客様が実体験できるサービスの拡充だけでなく、感覚で感じる雰囲気など、空間環境も意識した管理運営を行なっています。

1. スポーツ振興に寄与・施設の設置価値向上
2. 地域・関係団体・協力組織との協働
3. 格差の無い平等性・公共性に配慮した施設運営
4. コミュニケーション・居場所（活動場所）の提供・情報提供
5. 安心・安全な環境を安定的に提供
6. 長期的な維持管理を目的とした適切な管理
7. 行政・施設管理に関わる各所との良好なパートナーシップ構築

3. 実施計画

（1）管理運営について

関係法令・条例・規則に遵守した運営を実施します。関係法令については、契約した外部機関より適宜最新情報を受けながらコンプライアンスを遵守していきます。変更が発生した場合には社内通知を実施し、法令からの逸脱が発生しないように注意いたします。

- ・健全な企業活動
- ・公正な取引
- ・適正・誠実なサービス提供
- ・情報管理
- ・環境配慮
- ・社会貢献
- ・反社会的勢力と関係遮断

（2）環境管理について

環境負荷を低減するため、消耗品の共同購入や備品の同一機種への統一を図ります。

- ・設備管理、機械運転の最適化。省エネ運転
- ・ゴミ排出量低減
- ・穂の国とよはし電力株式会社との電気契約

（3）利用促進について

各施設の設置目的を最大限に発揮し、運動実施率の向上に寄与したいと考えます。また、施設の営業形態や備品の入れ替えなどを行ない、魅力づくりを推進します。

- ・各世代向けのスポーツ、運動教室の開催
- ・個人利用者向けの企画の充実
- ・施設の特徴に合わせたイベントの企画
- ・トップアスリートを招いた大会、イベントの開催
- ・トレーニング室のマシン更新、増台の実施

(4) サービスの向上について

お客様のご意見に真摯に対応し、ユニバーサルサービスの提供者として魅力的な施設づくりを目指し集客増を目指します。

- ・お客様アンケートの実施
意見箱の設置やインターネットからの収集、お客様アンケートの実施など我々からのアプローチも行い、多くの意見をいただける関係性と環境を構築します。
- ・スタッフ研修や各種研修会への参加
来場されるお客様に最適なホスピタリティーを提供できるよう定期的にスタッフ研修会を実施します。
- ・広報の充実
ホームページの開設 SNS、アプリの活用、紙面媒体での広報、メディアと連携した広報を実施させ幅広い層へ情報提供を実施します。
ご意見や苦言についての回答をしっかりと明示します。また、施設内ミーティングを行い情報の共有を図ります。

(5) 施設の維持管理について

管理上の要求水準及び関係法令を遵守し、長期にわたり安定した状態維持や施設環境の確保をするために本施設にあって最適な維持管理業務と体制を構築します。

- ・日常点検・保守点検
日常より変化がないかどうか常に意識し異常箇所の早期発見に努めます。より専門的な状況判断については、設備（機械）について見識を有する専門保守点検業者に委託し判断します。
- ・有識者による管理
設備業者と機器保守点検業務を契約することはもちろん、社内の有資格者や有識者が即時現場フォローします。
- ・実施体制とチェック体制
一部の業務を外部委託（第三者）に委託します。適切に業務委託が遂行されていることを確認しつつ、施設の状態を把握できるチェック体制の窓口を一元化させることでコスト削減と全体的な情報管理を実現します。
- ・計画性のある施設管理（保全・修繕計画）
ファシリティーマネジメントを取り入れ、施設ならびに備品について経済的・合理的に計画整備・運営・管理を実施いたします。
- ・建物点検と大型修繕の提案
専門業者による保守点検、不良箇所の更新で性能の維持をいたします。大型修繕の可能性が高い部分については早期に申告し対応について協議させていただきます。

- ・多目的広場の管理

これまでの管理水準を向上させるために必要な職員の配置。また委託業者による管理を導入し維持管理に努めます。

(6) コストの縮減について

安定したサービス提供を維持しつつ中長期的な視点を持ってコスト縮減に努めます。サービスの向上や利便性向上になる事業や企画を展開しながら、それらの品質を下げないようにコントロールを実施します。

- ・人件費の圧縮

マルチスタッフ制を導入し、複数業務を遂行することにより勤務体制の効率化を図ります。

- ・消耗品費

集中購買によるスケールメリットから価格低減効果を創出します。

- ・修繕費

ファシリティーマネージメントを進めながら施設や設備の長寿命化などを図り修繕費を圧縮します。また、修繕を自社対応させてコストの縮減に努め、より施設の特性を理解し、故障・障害・クレームの発生を未然に防ぎます。

- ・自動販売機設置

運営コスト縮減のため自動販売機をはじめ副収入になる事業を検討します。

(7) 人員体制、責任体制及び人材育成について

民間指定管理者として、行政・市民からお預かりしている施設であることを常に意識してサービスを提供できる人材を配置いたします。

- ・職員配置

運営ではハマダスポーツ企画が、施設の維持管理については日本管財が担当しそれぞれの業務において最適な人材を適正数配置します。

- ・人材確保（新規採用・施設間人事フォロー・地元採用）

より高い施設サービスの提供に向けた職員の採用を目指します。正社員、パート職員、インストラクターの雇用を積極的に行なっていきます。

- ・教育、研修、スキルアップ

多彩な優れた人材を育成するために必要な研修に積極的に参加させます。資格取得についても奨励し、更なるサービスの向上を図っていきます。

- ・対価提供

御市の定める「公契約条例」、愛知県条例を遵守いたします。また、人材育成を経て、職制の上昇や資格取得を経ることで必要な昇給や手当を実施していきます。

- ・個人情報保護について

豊橋市個人情報保護条例に準拠し、社内規定に合わせ適切に管理いたします。職員には、入職時には誓約書を提出させております。

(8) 危機管理対策について

「豊橋市地域防災計画」に準拠した施設運営を豊橋市と協働します。地震

や台風などの天災、事故や事件、トラブルなどに対して迅速で的確な対応をとれるよう、日頃から訓練やマニュアルの整備など事前に準備を進めます。

- ・『豊橋市総合スポーツ公園周辺施設防災連絡協議会』への参加
平成26年度より総合スポーツ公園の周辺施設による大規模災害発生に対応する協議会を立ち上げ、協力体制を確認、避難受入フローを策定、共同訓練を行なっております。
- ・機械警備による監視
夜間の警備は機械警備を実施いたします。
- ・適切な保険への加入
常に安全な環境を目指し施設管理を進めます。万が一の場合には誠心誠意の対応を行い、様々な運営上のリスクに対して保険で行政やお客様に補償を行ないます。

(9) 地域に密着した運営・地域との連携について

地域との関わり合い強化、地域へ積極的に出た活動を推進しています。地域振興を進めるにあたっては施設が地域に溶け込み、協働できる体制を構築することが重要だと考えています。

- ・近隣施設とのイベント協力
豊橋市総合スポーツ公園周辺施設との連携を強化し、各種イベントへの協力体制を構築します。
- ・地元業者や地元商店とのつながりを大切にします
委託業者の選定、サービス財の購入について地元業者の活用を進め、地域経済の循環に貢献します。
- ・職場体験等の受入
地元中学生の職場体験学習の要請は積極的に受入、教育活動の一助になるよう対応します。
- ・地域雇用の促進
地域に根差した運営を進めるにあたって、地域（市内）からの雇用を推進いたします。

(10) 自主事業について

生涯にわたり健康で豊かな心身でもって生活が送れるよう、指定管理者として市民に寄与したいと考えています。実施教室については各施設を現在利用されている方々の利用を妨げないように計画し、ニーズを汲み取りながら、よりトレンド性のある企画を提供出来るよう協力会社や外部ネットワークを駆使します。

- ・「総合スポーツ公園祭り ‘24’」
昨年に引き続き豊橋市総合スポーツ公園の魅力を最大限に発揮できるイベントとして平成26年度から開催している「アクアリーナ豊橋カップ水泳大会」の他を継続開催し、地元豊橋の水泳競技の普及参加者の健康づくりに寄与すると共に、多くの市民に総合スポーツ公園を活用してもらえる機会を提供いたします。

・各種教室・レッスン

〈年間会員〉

- (1) 子供能力開発スクール
- (2) トレッスン会員
- (3) ジュニアダンス会員
- (4) キッズダンス会員
- (5) アクアリーナ英会話教室

〈シーズン会員〉

- (1) 大人スケート教室 (4月、11~3月)
- (2) フィギュアスケート教室 (4月、11~3月)
- (3) 大人水泳教室 (6~9月)

〈期間限定会員〉

- (1) ダイエットサポートプログラム
- (2) 腰痛改善教室
- (3) 足腰楽々トレーニング

・利用促進事業 (無料)

- (1) バランスボール
- (2) ストレッチボール
- (3) バントトレーニング
- (4) 地区体育館ショートレッスン

・シーズン事業 (無料)

- (1) 飛込み練習会
- (2) 超!!飛込み練習会
- (3) 無料アクアウォーキング
- (4) 無料アクアダンベル

・短期・イベント教室

- (1) 短期水泳教室
- (2) 親子水泳教室
- (3) タイム測定会
- (4) 短期スケート教室
- (5) 親子スケート教室
- (6) 親子スポーツ教室
- (7) AT スポーツ教室
- (8) SP かけっこ教室
- (9) バラエティ 30
- (10) HSP スポーツ塾

・その他

- (1) スケート補助用ソリ貸出
- (2) ワイワイキッズランド

収支予算書

(令和6年度)

(単位：千円)

区分		金額	備考
収入計画	指定管理料	277,200	
	利用料金	120,600	
	自主事業収入	47,700	
	その他収入	29,700	
収入合計		475,200	

区分	内訳	金額	備考	
支出計画	需用費	消耗品費	6,350	
		印刷製本費	400	
		光熱水費	120,150	
		燃料費	800	
		修繕費	12,000	
	役務費	通信運搬費	1,450	
		手数料	700	
		保険料	2,780	
	委託料		118,550	
	賃借料		9,150	
	備品購入費		2,300	
	公租公課		100	
	その他		228,770	
	支出合計		503,500	